

○プラスチック資源に関する国の動向と県の施策の対応状況

項目	国の動向	県の施策
リデュースの徹底	<ul style="list-style-type: none"> <li>○回避可能なプラスチックの使用を削減するため、機能性を保持・向上した再生可能資源への適切な代替を促進</li> <li>○新型コロナウイルス感染症拡大の影響から「新たな生活様式」における不可欠な用途があることを考慮</li> <li>○製造事業者には軽量化等の環境配慮設計や代替素材への転換を、流通・サービス事業者等には過剰な使用の削減や代替素材への転換を促すための環境を整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1)-⑨ 石油由来プラスチック代替製品の利用促進</li> <li>(2)-⑧ リユース・リサイクル可能なプラスチック製品のデザイン推進</li> <li>(3)-⑪ 可燃ごみ指定袋等へのバイオマスプラスチックの導入を働きかけ</li> </ul>
リユース・リサイクル可能な製品設計	<ul style="list-style-type: none"> <li>○プラスチック製容器包装・製品のデザインを、機能を確保するとともに技術的に分別容易でリユース・リサイクルが可能なものを目指す</li> <li>○活用分野により事情がことなることを考慮したうえで、設計の転換を促す環境を整備</li> <li>○イノベーションが促進される公正・公平なリサイクルの仕組みを検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(2)-⑧ リユース・リサイクル可能なプラスチック製品のデザイン推進</li> </ul>
プラスチック資源の回収・リサイクルの拡大と高度化	<ul style="list-style-type: none"> <li>○使用済みプラスチック資源の回収・リサイクルシステムを分かりやすく構築</li> <li>○家庭から排出されるプラスチック製容器包装・製品は、市町村での分別回収及び事業者による自主回収を一体的に推進し、最新技術で効率的に選別・リサイクルする体制を確保</li> <li>○（家庭系）市町村による分別回収においては、消費者に分かりやすい分別ルールにするとともに、市町村とリサイクル事業者で重複している選別等の中間処理を一体的に実施することが可能となる環境を整備</li> <li>○（家庭系）事業者による自主回収においては、質の高</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(2)-⑤ 小売店等における資源物の回収拠点に関する情報提供</li> <li>(2)-⑥ 製造者が実施する使用済み製品の回収に関する情報提供の実施</li> <li>(2)-⑦ 市町村の分別ルールに従った丁寧な分別を推進</li> </ul>

	<p>いりサイクルに向けて、製造・販売事業者が相互連携し、消費者からプラスチック製容器包装・製品を円滑に自主回収・リサイクルできる環境を整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○（事業系）排出事業者が自らのプラスチック資源を高度リサイクルする取組みに向けた環境を整備</li> <li>○（事業系）家庭系から排出されたものとまとめてリサイクルできる環境の整備</li> <li>○プラスチック資源の性状に応じた最適な手法の選択ができるようにリサイクル・熱回収の技術開発と社会実装に向けたインフラの整備を支援</li> </ul>	
代替素材の利用促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>○再生素材の利用を促進するため、品質・コスト・安定供給のボトルネックを解消するとともに、環境価値の「見える化」を通じて、技術開発・インフラ整備、需要喚起、事業者同士のマッチング、リサイクル関連産業の振興、育成等を推進</li> <li>○バイオプラスチックへの代替促進に向け、生産体制から利用ポテンシャルまでサプライチェーン構築を計画的に行うため、バイオプラスチック導入ロードマップを策定し施策を展開</li> </ul>	<p>(3)-⑩ 可燃ごみ指定袋等へのバイオマスプラスチックの導入を働きかけ 各主体の連携強化 ① プラスチック資源循環のための会議開催</p>
分野横断的な促進策	<ul style="list-style-type: none"> <li>○先進的な企業や地方公共団体、NGO等の取組事例の創出・横展開を図る。</li> <li>○各企業・各業界の率先的な戦略・自主行動計画等の策定及びフォローアップを後押し。</li> </ul>	<p>(1)-④ 県ホームページや SNS 等での家庭ごみ減量化に関する情報発信 (1)-⑧ 「ぎふプラごみ削減モデルショップ」制度の推進 各主体の連携強化 ① プラスチック資源循環のための会議開催</p>

出典：R2.9.1 開催、中央環境審議会循環型社会部会プラスチック資源循環小委員会合同会議資料「今後のプラスチック資源循環施策の基本的方向性について（案）」を整理